

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 27日(木) 19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	1
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

司会、記録の選出

全員で順番に司会と記録をつとめることに決定。

議題：前回の議題にそって話し合いを進める。

- ・重要なものから話しましょう。地域に必要なものから。
- ・道路を造るのか造らないか、県の方が見えてから質疑応答しましょう。
- ・道路を造ることに賛成の方の意見をしっかり聞いて本当に必要かどうか話し合いましょう。
- ・安曇野の自然は山と田んぼ。景観を守るために道路は必要。

司．テーマを財源か景観にしてはどうか。

- ・1時間半では時間が足りない。前回の議題にそって進めることになっている。
- ・このような意見交換会は無駄ではないか。全体で話し合ってはどうか。
- ・グループ意見交換会ということなので、とりあえずそれで行きましょう。6倍の意見が聞けるでしょう。
- ・他のグループや他の市町村の意見は閲覧できます。とにかく自分たちの意見を出したほうがいい。
- ・田を守るために道路を造るという意見をきいて驚いた。道路ができれば景観は絶対に変わる。
- ・役場にききたい。都市計画というのが穂高を都市としたいのか。田園のままにおきたいのか。
- ・町議会はこの道路建設に対してどういう動きをしているか。
- ・町議会は何も決めていない。両論併記である。

本支配布の資料：町議会、議事録、情報公開等の資料を参照して下さい。

- ・一昨年郡全体の議員大会で道路の要望書が出された。穂高町提出、県へ。県から国へいった。
- ・その後住民の要望の多数をとらえて白紙に戻した。
- ・議会制民主主義なので、今は意見を聞きたいというのがこの場で直接声を上げてどうなるというのか。変だ。議員に出席してほしい。町の議会で反対となっはじめて県に出せる。反対、賛成とも良く話し合えたら素晴らしい。町はこれからどうなっていくのか疑問です。

この議論は中断します。ここで県担当者、他の会場の説明を終え遅れて出席。印は質問に答える形で県側からの話を要約したものです。

第 2 回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 27日(木) 19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	1
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

県

オブザーバーとしてできるかぎり県から1人は出席したい。

資料提供。これ以上必要ならまた提供します。

この会の方向性として結論を出す場ではない。皆がどんな意見を持っているか知りたい。

11月下旬までに集約して12月上旬にまとめる。

地区別に住民集会を開いてゆく。

松本系魚川道路長野県側ルート建設促進協議会議事務局で問答集を持っている。

前回の質問には口答で答えたい。会長は大町市長。会計のことはわからぬが問答集は税金で作られたと承知している。

- ・ 白紙の状態で話し合っているのに公費で問答集が出るのはおかしい。
- ・ 口答の回答は納得できない。前回の要望4の項について県は是非文章で解答して下さい。
- ・ 反対の問答集もあってよい。道路建設促進の資料があるならなぜ作ってはいけないかという反対の資料も税金で作り返覧板で廻すぐらいしてもいい。
- ・ 調査区間15kmはどうなっているか。白紙とはどういうことか。知事が変わったから県の態度が変わったのか。

県 従来の一方向的説明では無理があり、地域の要望をとり入れようと変わりつつあったとき知事が変わった。白紙というのは立止まっているということ。

- ・ この道路はいらないと県は国につたえるのか。

県 高速道路網からはずれたので、147・148号線のバイパス的整備が高規格道路と答える。交通量は将来減るかもしれないが5年毎の調査では少しずつ増えている。今までは行政の主導にしてきたが皆さんの意見も聞きたい。

- ・ 道路がつくられるとして一般財源のつかわれ方
この地域に100億つかわれるとしたら今まである道路の整備や歩道など後まわしにされないか。バイパス的整備ということは部分的に道路を造ることが可能ということか。

県 現在は大雑把になっているが具体的にはわからない。宿題です。

現存の道路の整備は優先順位をきめてやっている。

ルートのとり方によるが部分的ではなく全体としてつなげないと公益的道路には機能しない。

- ・ 調査区間は辞退できるか

県 法的権限はないが調査区間に決まると整備区間になる。

- ・ 調査区間15kmのなかに何故穂高町が入ったのか。着工してからこの経済状態で15～20年経った時、未着工部分が出たら財政問題の責任は誰がとるか。

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	9月 27日(木) 19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	1
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

県 何と答えたらいいかわからない。財源を考えてから計画をたてるわけではない。県は立案したら主管が財源をつける。

- ・ 財源のことは皆が心配して知りたいから調べてください。
- ・ 今回のアメリカで起きたテロ事件について日本が国をあげて見舞い金と援助金と合わせて60億位贈っている。とてもすごい金額だと思っていたらその同じ額でわずか1kmの道路しか出来ないと知って驚いている。今はそんな少しの額しか援助しなかったのかと思っている。
- ・ この道路は日本国内の道ですか。世界に恥じない道ですか。

県 道路は日本国内しか考えていない。

- ・ 日本では明治以降外国からいろいろ学び取り入れてきたが、環境対策までは取り入れてなかった。道路を造っても電気自動車しかはしらせないとまで考えているか。
- ・ 四車線環境対策はします。国内の道路に準ずるものと思う。
- ・ どうでも道路を造るなら全部トンネルにしてください。
- ・ 環境に配慮すればする程財源が必要になる。お金がかかる。新潟の高規格道路を走ったが快適ではなかった。ガタガタで50km/hでしか走れない安普請であった。白馬を通過していったが道はすいていた。
- ・ ある人はこの道路(高規格道路)についてある時は高速性を強調し、ある時は地域利便性について説明するが県は高速道路と考えているときいている。
- ・ 何故起点を波田にもってくるようにしたのか。

県 起点は波田～糸魚川。位置付けはそのままで止まっています。

- ・ 高速道路計画からはずれて高規格道路となったが県は白紙といっている。道路自体が白紙か。
- ・ 県は最初に計画を立てて考えて下さい。松本が起点となれば掘金は通らない。なぜ調査区間なのか。無駄ではないか。

県と参加者の間で資料による経過の確認作業あり。

- ・ 最初の計画では豊科～糸魚川だった。どんな議論がされて波田～糸魚川になったのか。

県 検討の中での豊科～糸魚川だった。

- ・ その検討の議事録がない。すててしまったと言われた。(どっと笑い)冬期オリンピックと同じですネ。
- ・ おとり地図をみせられて自分の家がなくなってしまうと思えば眠れない日が続いた人もいる。皆が大騒ぎしてこの計画がわかってきたが私達が知らなかったらこの計画は実施されていたのか。

県 やっていませんよ。

- ・ ああ、立ち止まったままなんですね。

第2回 意見交換会 要旨

開催日時

9月 27日(木) 19時00～21時00

市町村名

穂高町

グループ名

1

メンバー

(: 司会、 : 記録者)

- この話し合いはとても有意義でした。
次回も県の参加と町の参加を希望します。

以上

次回の日程と進め方

10月11日(木) 午後7時～9時 町民会館第一会議室

県、町の担当者が出席することが条件

進行役、記録を再度決める

議事(案)

財源と環境

道路の必要性

依頼事項への回答

第1回目の意見交換会の内容をインターネットにのせたいという県の要望に全員賛成している。